

## 【木質資源カスケード事業】住宅事業における構造材の国産材使用率85%に到達 自社工場生産による国産材化の推進と住宅木材の安定的な供給を実現

株式会社ウッドフレンズ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：林 知秀、以下「当社」）は、2021年に建設した当社住宅の構造材における国産材使用率が、85%を超えたことをご報告いたします。

### 当社住宅の構造材における国産材の使用率85%超

当社は、2011年の集成材工場とプレカット工場の設立以降、構造材の国産材化に取り組み、2021年に建設した当社住宅は、構造材の国産材使用率が85%を超えるに至りました。2021年12月に稼働開始した新工場では、集成材生産およびプレカット加工等に必要材料の供給についても着手を開始し、更なる生産能力の向上を進めています。

また、各種住宅部材の開発生産においても国産材化を進めており、オリジナル木製外壁材『WALL WOOD』は国産杉で開発し、生産しております。

今後も木材加工技術の開発を推進し、オリジナル木製サッシ『WINDOW WOOD』ほか、各種住宅部材の国産材化を目指してまいります。



杉集成材を使用した構造材



杉を使用したオリジナル木製外壁材『WALL WOOD』



オリジナル木製サッシ『WINDOW WOOD』

### 輸入集成材の価格上昇による住宅価格への影響

一般的な木造住宅の建築費において木工事は30~40%の割合を占めており、木造住宅価格に大きな影響を与えています。（内外装や住宅設備のグレードにより割合は異なる）

2021年春以降、ウッドショックにより輸入木材の価格が急激に上昇し、2021年9月時点で輸入製材価格は前年末比プラス137%※となっており、米松KD材の店頭渡し販売価格は、立米あたり85,000円/m<sup>3</sup>（2020年12月）から145,000円/m<sup>3</sup>（2021年12月）へと大幅な上昇となっています。輸入木材価格は2021年12月以降も高止まりが続き、加えてロシア材や欧州の不足といった国際情勢上のリスクも見られ、今後も継続する見通しです。

※出展：経済産業省「いつまで続くウッドショック」

### 国産材化の推進による住宅の安定的な供給

一方、国内の製材価格はプラス62%※と輸入集成材の上昇の半分以上に推移し、その中でも当社は『木質資源カスケード事業』として自社物件の国産材化を推進してまいりました。『木質資源カスケード事業』のもと、自社工場を中心とした地域の国産材流通ネットワークにより、安定的な住宅供給を推進してまいります。

※出展：経済産業省「いつまで続くウッドショック」

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社ウッドフレンズ 担当：総務部 TEL：052-249-3076 MAIL：press@woodfriends.co.jp

1/2

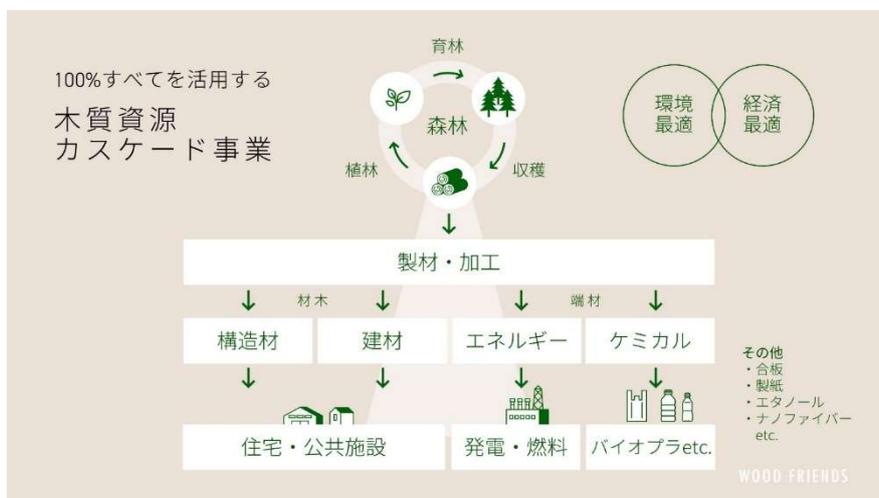


出展 経済産業省 いつまで続くウッドショック

[https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto\\_kako/20211022hitokoto.html](https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto_kako/20211022hitokoto.html)

## 木質資源カスケード事業とは

当社は時代・社会・環境における企業活動として、東海地方の豊富な森林資源に着目し、2011年に自社集成材工場、プレカット工場を岐阜県養老町に開設しました。住宅事業において林業から建築、販売まで一貫した『製造小売』を実現することで、従来の複雑な流通を省き、国産材を適正価格で安定的に供給することを目指しております。また、同時に構造材の生産工程における余剰材を有効活用することで、木質資源ロスを減らすことに繋がっています。地域の林業を適切に循環させ、木資源を適切に使い切る。この『木質資源カスケード事業』という当社の概念のもと、投資・開発を進めており、これらの取組みがSDGsへダイレクトに繋がっていると考えております。



## ウッドフレンズについて

社名	株式会社ウッドフレンズ
代表取締役社長	林 知秀
所在地	名古屋市中区栄四丁目5番3号 KDX名古屋栄ビル2F
代表電話番号	052-249-3503
URL	<a href="https://www.woodfriends.co.jp">https://www.woodfriends.co.jp</a>

1982年設立以来、商品・会社・社会が美しくあるという企業理念「より美しく」のもと、これまでに約12,000戸の住宅を供給。グループ事業としてゴルフ場運営、ホテル運営、指定管理なども展開。自社集成材工場を起点として、林業から住宅の販売まで一貫した製造小売の体制の実現を目指しています。住宅事業を産業として取り組むことで地域の雇用創出をはかりながら、木質資源を有効活用し、豊かな住環境をつくり、持続可能な循環型経済を実現する「木質資源カスケード事業」という当社の概念のもと、地域社会とともにある企業を目指しています。

### 【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社ウッドフレンズ 担当：総務部 TEL：052-249-3076 MAIL：press@woodfriends.co.jp